

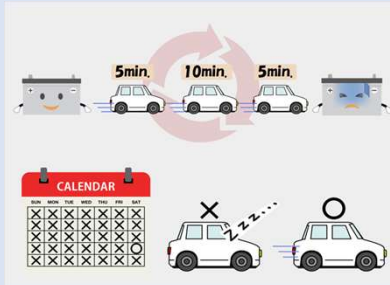
バッテリーあがりを防ぐために

バッテリーあがりにつながりやすい使用シーン

※本内容は
HPにも記載しております



あてはまるシーンがないか、ご確認ください



走行時間が短い、
または低頻度での使用
(長期間未使用含む)



エンジン、HEV/FCEV/PHEV/
BEVシステムOFFの状態
で電装品を継続的に使用

要チェック!

<具体例>

ドライブレコーダー駐車時常時録画長い

+

高電流の後付け用品

バッテリーへの負荷大

クルマによってはパワースイッチOFF後もバッテリー電力を使用し作動を続ける機能（ACCカスタマイズ*等）がございます

*パワースイッチOFF状態でも、一定時間はマルチメディアシステム（TV等）が使用できる機能です。マルチメディア画面操作から設定変更ができます

バッテリーあがりを防ぐためには…

■定期的に運転をしましょう

- ・低頻度・短時間走行は、バッテリーを十分に充電できず、バッテリーあがりが発生しやすくなりますので、少なくとも2週間に合計30分、特に冬は2週間に合計80分を目安に運転してください。

■エンジン、HEV/FCEV/PHEV/BEVシステムがOFF状態での、電装品（ランプ・エアコン・オーディオ・ドライブレコーダー等）の継続利用を控えましょう

- ・ドライブレコーダーの駐車時常時録画モードの設定時間やACCカスタマイズの設定状況をご確認ください。

■バッテリーの点検・交換をしましょう

- ・バッテリーの寿命の目安は2～3年です。使用環境や年数に応じて充電能力が低下して寿命が短くなるため、販売店にてバッテリーを点検しましょう。充電量が少ない状態でのバッテリーのご使用は、バッテリーを充電しても回復しにくくなり寿命が短くなります。

■高電流の後付け用品に注意しましょう

- ・高電流の後付け用品（一部のドライブレコーダー、イルミネーションライト等）は、電力消費が大きくなるだけでなく、バッテリーあがりにつながる可能性がありますのでご注意ください。

参考情報

バッテリーあがり事前通知サービスについて

一部電動車（BEV車やハイブリッド車等）を対象に、**eケアサービス**（ヘルスチェックレポート）にてMy TOYOTA+アプリ / My LEXUSアプリで、補機バッテリー充電量低下状態の通知*を確認できます。

※対象のお客様は、アプリの「メンテナンス」に、補機バッテリー充電量低下項目の表示があります。

※eケアサービスの詳細はこちら



* スマホ画面イメージ

